合気道新聞
毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236（代表）
FAX03（3204）8145
購読料
1ヵ年　2,500円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

現し世と
神や仏の
道守る
合気の技は
草薙ののり

第16回 全日本合気道連盟講習会
第27回 全東北合気道演武大会

約230名が参集

道主による総合演武

約230名が講習会に参加

第16回全日本合気道連盟講習会（全日本合気道連盟主催）が10月20日、第27回全東北合気道演武大会（東北合気道連盟、東北学生合気道連盟主催）が10月20・21日、ともに青森県青森市の「みちぎんドリームスタジアム」で開かれた。

来賓には、青森副市長前多正博氏、青森県合気道連盟顧問・青森県議会議員高橋修一氏、青森市議会議員工藤健氏が、臨席された。

東北6県を中心に約230人が参加し、日頃の稽古で磨き上げてきた技を披露し合いつつ、交流を深めた。

同講習会、同演武大会とも青森県内での開催は2005年以来で13年ぶり。今回新たに制作した東北合気道連盟旗が掲げられた。

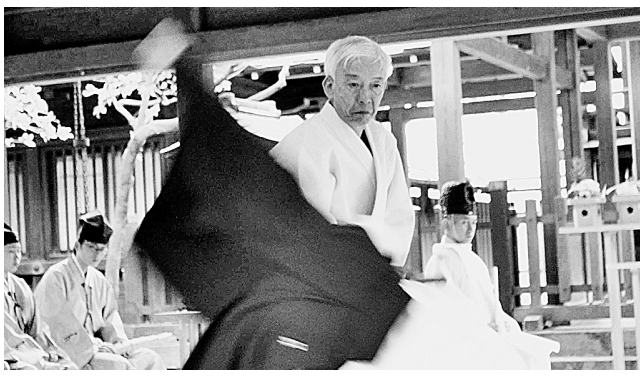
植芝守央合気道道主が講習会の特別講師を務め、演武大会では総合演武を披露した。

演武の出場者は、少年少女、高校生、大学生から高段者まで各年代にわたり、投げ技、固め技から武器取り、多人数掛けなど多彩な技が繰り広げられた。

主管した青森県合気道連盟の田邊孝美会長は「東北は一枚岩の精神で、連盟旗の下、これまで以上に心を一つに合気道の発展に努めていきたい」と話していた。

60周年

國學院


道主による奉納演武

創部60周年の節目を迎えた國學院大學合氣道部が、植芝守央道主・植芝充央本部道場長、大学関係者らの来賓を招き、10月13日に記念行事を執り行った。13時からは同大学渋谷キャンパスの神殿にて奉告祭が挙行され、OB・OGをはじめとする約100名が参列するなか、祭儀では道主・本部道場長・金澤威師範・現役部員が神前に演武を奉納した。

同大学は創部時に開祖盛平翁を総師範、吉祥丸二代道主を師範としていただいて以来、周年行事ごとに道主・道場長が演武を披露し、本部道場の指導のもと60年間活動している。奉告祭後には場所を明治神宮に移し、同社神楽殿にて祈願祭を挙行。今後の部の発展を参列者100名で祈願した。また、祈願祭に先立っては、道主・道場長らの来賓とOB会幹事、現役幹部が御正殿にて正式参拝を行った。同大学は草創期に同社の芝生で稽古するなど、長年にわたっての縁も深く、このたびの周年行事の開催となった。16時半からは、同社参集殿において祝賀会を催し、来賓・OB・OG延べ150名が出席した。

開会に先立ち中川健一OB会長が挨拶に立ち、出席者に謝辞を述べた。つづいて道主、関係各位からの祝辞の後、網谷道弘明治神宮権宮司の乾杯で開宴となった。祝宴の中では歴代部員の写真がスライドショーで流されるなど趣向を凝らした演出もあり、出席者は歓談に花を咲かせていた。終盤には渡邉卓監督の活動報告、内田雅也主将部による謝辞があり、最後に出席者全員で校歌を斉唱、そして関哲夫部長の締めの挨拶で閉会となった。

60周年の節目に相応しく盛会に開催された一連の行事から、今後ますますの國學院大學合氣道部の力強い歩みが予感させられた。（國學院大學合氣道部監督　渡辺卓）

法政

「法政大学合気道部創立60周年記念祝賀会」が9月23日（祝）、千代田区飯田橋のホテルグランドパレスで開催されました。

法政大学合気道部は、昭和34年に故・有川定輝先生を師範にお迎えし発足いたしました。

今回は60周年の記念行事として、「法政大学合気道会」発足当初にご指導いただいた、米国合気道連盟永世会長の山田嘉光先生による『山田嘉光先生特別講習会』も開催され、法政大学市ヶ谷校舎の体育館に、合気道部OB・OG67名と現役生51名、総勢118名が集まり、世代を超えて、全員が稽古に汗を流しました。講習会は、呼吸法で身体を伸ばすところからはじまり、入身投げ、小手返し、四方投げ、一教の基本技を、片手取りから正面・横面打ちの順番で、わかりやすくじっくり丁寧にご指導いただきました。

前列左より山田師範、田中総長、道主

その後午後5時半から、ホテルグランドパレスに場所を移し、祝賀会が開催されました。祝賀会には、植芝守央道主、法政大学総長田中優子先生、山田先生のご臨席を賜り、有川先生がご指導された7大学の師範・監督の皆様、毎年、法政大学合気道部と合同稽古をしてくださっている他大学の皆様など、多数の関係者様にもご臨席賜りました。

田中総長、植芝守央道主、山田先生からご祝辞を頂戴した後、宴がスタート致しました。総勢約200名の参加者の中には、遠方からはるばる来られたOB・OGの方もいて、久しぶりの同期や先輩後輩との再会もあって、会場は終始盛り上がっていました。午後7時半頃に全員で輪になって法政大学校歌を斉唱し、盛会の裡に終了しました。

（法政大学合気道部　富士見合気道友会60周年実行委員　根木俊一）

武蔵

武蔵大学合気道部は、創部60周年という節目の年を迎え、記念行事として10月13日に、武蔵大学江古田キャンパス内にある武蔵大学五十周年記念ホールにて記念祝賀会を開催した。

式典には、本部道場から御指導頂いている藤巻宏師範に、大学からは武蔵大学副学長の高橋徳之先生、学生支援センター長で合気道部部長の武田信子先生にご臨席を賜り、御来賓、卒業生、卒業生御家族、現役を含む約100名が参加して盛大に開催された。

藤巻宏師範からは御祝辞を、高橋徳之副学長からは武蔵大学の歴史の殆どに当部が寄り添ってきた事をお話し頂き会場から大きな拍手が沸き起こった。

卒業生同士の久し振りの再会や御来賓の方々との常にない貴重な御機会に、会場のあちらこちらで話が弾み、笑いが響き、胸に残る暖かい会となった。

現役一同も足が遠のき顔を合わせる事が稀になってしまった卒業生たちと交流でき、有意義な時間を過ごしていた。

応援団の音頭での校歌斉唱では現役時代を懐かしんの中で当部が過去学連へ貢献してきた事で、肩を組んでの斉唱を何組か見受けられた。藤巻宏師範もその中に御参加下さり、笑顔溢れる思い出深い場面として会を飾った。

（武蔵大学合気道部23年卒OB　監督　浅野恭平）

約100名のOB、OGが参加

入身転換

一気に涼しくなり稽古には絶好の季節となった。

山々では紅葉が始まり美しい色彩に圧倒される。

先日、甲府市の昇仙峡を訪れた。ロープウェイに乗って弥三郎岳の山頂から美しく雪化粧した富士山を眺めた。紅葉と仙娥滝（せんがたき）など渓谷の景色に堪能した。

昇仙峡では影絵の森美術館も訪れた。影絵の巨匠と言われる藤城清治が自ら設計した影絵の美術館である。光と影の世界がより美しく見えるように工夫されている。水と鏡を使った作品は見ている自分も絵の中に入り、左右に無限に広がる様は幻想的であった。因みに、美術館の第2展示室には山下清、竹久夢二、内海桂子、安井康二の作品や特別企画展として四大浮世絵師の作品が展示されていた。

折角の機会なので、市内にある山梨県立美術館も訪れた。十九世紀フランス画家の中で農民絵画を描き続けたミレーの作品を数多く所蔵している美術館である。ミレー館には「種をまく人」や「落ち穂拾い」、新しく収蔵された「角笛を吹く牛飼い」を含め多数の作品が展示されていた。今回はミレーと同時代に生きて印象派への橋渡しをしたと言われるドービニーの特別展が併設されていた。開館40周年記念だそうだ。アトリエにした船で旅しながら水辺の画家として、ドービニーはモネなどに影響を与えたそうだ。美術館めぐりと紅葉を楽しんだ秋の一日だった。

読書の秋でもある。このたび日本武道館から出版された多田先生の「合気道に活きる」を一気に読んだ。正に合気道に活きる道を選ばれた先生の生き方は合気道の道を目指す者に大いに参考になろう。（可児　晋）

地域社会指導者研修会

滋賀県

滋賀県地域社会合気道指導者研修会は、菅原繁本部道場指導部師範、桑原将太本部道場指導部指導員をお招きし、琵琶湖畔に建つ滋賀県立武道館にて、開催いたしました。滋賀県合気道連盟として、今回が2回目の地域指導者研修会です。9月29日、30日の2日間の開催予定でしたが、台風24号接近の為、29日（土）の1日だけの開催になりました。足元の悪い天候にもかかわらず、滋賀県内外の道場から、およそ60名が参加しました。

菅原師範の四方投げ

個々の技の練磨ができたことはもちろん、たとえば、相半身、逆半身からの動作の重要ポイントやその着眼点、初心者に対する受け身の指導方法など、指導者として必要な知識や技法を学ぶことができました。また、研修最後の質疑応答のセッションでは、予定時間を超える程の数多くの質問に対して一つ一つ丁寧にお答えいただきました。参加者の意識は高く、密度の濃い1日でした。

この研修会を通して、普段一緒に稽古する機会の少ない相手と稽古できたことは、近隣の府県の道友との友好の輪を広めることに大いに役立ったと感じています。滋賀県内の合気道の技量を高め、親睦を深め、今後の県内での活動を盛んにするために非常に有益な研修会でした。

ご参加いただきました皆様、運営にご協力いただきました皆様、そして、武道館の関係各位にはお礼申しあげます。今後とも滋賀県合気道連盟にご支援を賜ります様、お願い申し上げます。（滋賀県合気道連盟　清水正男）

富山県

平成30年度富山県（富山市）地域社会合気道指導者研修会は10月20日、21日県営富山武道館で開催された。本部道場からは栗林孝典本部道場指導部師範、里舘潤同部指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を島恵司師範（富山県合気道連盟理事長）、上島政則師範（富山県合気道連盟理事）が務めた。参加人数は県内、近隣の県合わせて54名であった。

20日は午前に開会式が行われ、島瀧兼人県営富山武道館館長は「この2日間の講習会が皆さんにとって実りのあるものになっていただけたら幸いです」と挨拶。開会式後、栗林師範、島師範、上島師範による講習がそれぞれ行われた。21日は午前に栗林師範、島師範による講習、午後に上島師範、最後に栗林師範の講習で締めくくられた。栗林師範は両日を通して相手との繋がりや姿勢を意識することを述べられ、呼吸法、入身投げ等基本技を中心に指導された。

閉会式では、島師範から受講者に修了証が授与され、講師を代表して栗林師範が講評を述べられた。2日間の講習会は怪我や事故なく無事に終了した。

千葉県

平成30年度千葉県（千葉市）地域社会合気道指導者研修会（主催＝公益財団法人日本武道館・全国都道府県立武道館協議会・公益財団法人合気会、主管＝千葉県合気道連盟、後援＝日本武道協議会）は10月13日から14日の2日間に渡り千葉県総合スポーツセンター武道館で行われた。39団体233名の参加があった。

栗林師範の三教

中央講師として入江嘉信本部道場指導部師範、梅津翔同指導部指導員が本部道場から派遣された。地元講師を乾泰夫千葉県合気道連盟副会長と吉川滋同連盟理事長が勤めた。また、講演会講師として、三藤晃生（公財）日本武道館常任理事・事務局長、本宮一好千葉県総合スポーツセンター所長が担当した。

開会式では主催者側から臼井日出男（公財）日本武道館理事長、越川均千葉県総合スポーツセンターセンター長、主管団体から高橋嗣慶千葉県合気道連盟会長、講師を代表して入江師範がそれぞれ挨拶を行った。臼井理事長は挨拶で「合気道は試合がなく精神面の鍛錬が大切である。稽古を通じて精神を高めて欲しい。研修会で学んだことを各々の道場で広めていただき、今後も多くの指導者の発展、活躍を期待しております」と述べた。

入江師範の入身投げ

研修会では入江師範は正面打ち、片手取り、諸手取り、後ろ両手取り、半身半立ちによる基本技を中心に丁寧に指導を行った。乾師範は呼吸力について講話・実技指導を行い、吉川師範は学校合気道入門としての実技指導を行った。また、三藤事務局長は中学校武道必修について、本宮所長はAEDを使用した救急救命講座について講習を行った。

2日間に渡る講習会終了後は、閉会式が行われ参加者に修了証が渡された。最後に入江師範から講評がなされ盛会の内に終了した。

北海道連盟　秋季講習会

北海道合気道連盟は10月13、14の両日、千歳市総合武道館に桂田英路本部道場指導部師範をお迎えして、秋季講習会を開催しました。北海道内19の加盟団体から95名の会員と学生合気道団体3校から66名の部員、合計161名が参加し、秋の涼しいすごしやすい気温の中での講習となりました。

講習会初日は、基本技を通じて、中心のとらえ方、力のの せ方、出し方をご指導いただきました。2日目は、特に「体を面で使う」ことを意識した体の使い方や、上半身と下半身の調和、姿勢の大切さを教えていただきました。また、相撲や他の武道、様々なスポーツの具体的な動きを示されながら、普段の稽古では気付きにくい体の使い方や動きについても、丁寧に説明していただきました。

桂田師範の入身投げ

さらに講習中は、多くの参加者の稽古相手となってご指導くださったため、涼しい屋外とは違い、道場は終始参加者の熱気に溢れていました。今回の講習を通じて、改めて姿勢の大切さを再認識するとともに、自らの動きを制約しない体の使い方や動きが少しでも身につくようになれればと、日々の稽古への思いを新たにしました。（札幌合気道会　藤江　淳）

愛知、岡崎皇道館　第21回講習会

岡崎皇道館（愛知県）主催「第21回栗林師範講習会」が10月6、7日の2日間、皇道館道場、岡崎中央総合公園内道場で市内外から約150名の参加者で師範に触れ技の向上と他道場との交流を深めるという趣旨でおこなわれた。1日目は、汗が流れ落ちる暑さの中、片手取り呼吸転換、正面打ち第一教と基本の捌き・技を師範のお言葉の無いご指導。普段以上に見て、触れて、体感することに集中。師範に受けまで取っていただいた。参加者は、受けの師範に張りつめた気持ちと細心な動作で時には滑らかに時にはぎこちなく技をかけ体現した。このような稽古ができたことに参加者らは「緊張した」との感想と師範への感謝の気持ちを話していた。2日目には、師範から「視覚、触覚を感じる稽古をしましょう」のお言葉。参加者は、師範の技を受けた感覚をたどり1つ1つ体の使い方を確認、反復し体に染込ませていた。2日間が終わり参加者から「清々しい」の声があった。（岡崎合気道皇道館　太田一義）

第58回全国学生合気道演武大会

「第58回全国学生合気道演武大会」は、11月17日（土）、東京・千代田区の北の丸公園内・日本武道館で開催されます。

当日は午前11時開場、11時半開会、午後3時50分閉会予定。一般観者歓迎。入場無料。

道主による演武で大会は締め括られた

東大和、創立50周年

東大和市合気道会創立50周年記念演武大会、祝賀会が9月30日植芝守央道主をお迎えし、盛大に開催された。

東大和市合気道会は昭和43年に故飯田茂師範により設立され、昭和59年に澤田朗現道場長が引き継ぎ、現在152名の会員を擁し日々稽古に励んでいる。

演武大会は、第49回東大和市市民体育大会の一環として東大和市民体育館において、正午から16時まで主催者の尾崎保夫東大和市市長、吉川五郎会長の挨拶で始まった。

演武は稽古風景、会員演武、会長演武、道場長演武の順に行われた。その後、来賓演武として19団体約160名の演武、高段者演武、小林保雄師範の演武が行われ、最後に植芝道主の模範演武で大会は締めくくられた。

祝賀会は立川パレスホテルに場所を移し開催された。台風上陸の予報の中、約200名が出席した。植芝道主の挨拶では「50年という長い期間、今日まで合気道の普及に努められた」とのお言葉を頂いた。その後、小林保雄師範、尾崎市長にも来賓挨拶を賜った後、樽酒の鏡割りに続いて、五十嵐和男師範の発声で乾杯が行われた。

台風接近の中開催された演武大会、祝賀会は滞りなく終了した。

IAFが理事会

国際合気道連盟（IAF）は、9月27日から29日にかけて、合気会3階会議室においてIAFの理事会を実施した。

（公財）合気会からは植芝充央本部道場長、林典夫常務理事、谷正喜国際部副部長、金澤威総務部長と会計担当のオブザーバーが参加。IAFから井沢敬理事長、レイフ・スニエ副理事長、ウィルコ・フリースマン事務総長、ドリン・マルチス理事、チャールス・マクギニス理事、フレデリック・ヘルブロック理事、神谷正一理事、ヘンリエット・フレーデル事務総長補佐、貞國鎮財務総長、尾崎晌高等委員、トニー・スマイバート高等委員が参加した。

会議は井沢敬理事長が議長となり進行し、IAFの各作業部会からの報告、IAFの会費制度見直し、2020年に開催予定の「国際合気道大会」などの議題について活発な意見交換が行われた。

挨拶をする道主

会議最終日の29日には植芝守央道主から「3日間にわたりましてそれぞれの役目の方々にお集まりいただき、現在直面している課題や今後の課題について真摯に打ち合わせをしていただき、誠にありがとうございます。これからも開祖植芝盛平翁の創始された合気道の技法と心を大切にして良い形で次の代に繋いでいくという大きな任務に向かって今後ともよろしくお願いいたします。3日間ありがとうございました」との閉会の挨拶があり、3日間にわたる会議が終了した。

2学連が演武大会

中四国

第46回中・四国学生合気道演武大会が10月6日、入江嘉信合気道本部道場指導部師範を招いて開催された。場所は岡山武道館で、午後12時30分から開会式が行われた。中・四国学生合気道連盟の9校と、賛助演武として北海道、東北、関東、中部、関西の学連から、計87名が演武を行った。

各大学、日頃の稽古の成果を存分に思わせる素晴らしい演武を披露した。中・四国学連は加盟校間の距離が遠いため、加盟校間の交流を深める場は非常に貴重である。今回の演武大会は学生たちにとってとても良い刺激になり、今後の稽古で更に技を磨いていくための糧となったことだろう。最後には入江嘉信師範による模範演武で大会は締め括られた。

演武大会終了後の祝賀会には入江師範をはじめ大会開催のためご尽力くださった先生方や、大会に参加した学生が出席し、また来年度へ向けて親睦を深めることができた。（中・四国学連委員長　橋本）

入江師範による模範演武

中部

第49回中部学生合気道演武大会は10月20日、小林幸光本部道場指導部師範を招いて愛知県武道館において開催された。

開会式では福永隼也中部学生合気道連盟委員長が演武大会の参加者に感謝の意を述べた上で「来年は第50回と節目の大会となるので、本大会で来年の活力となるよう繋げていきたい」と述べた。

続いて小林師範より「以前の大会では参加者の元気な演武をみてエネルギーを貰った。今回も学生らしい若さ溢れる演武をしていただきたい」との挨拶があった。

演武には加盟校8校から約120名の参加があった。各大学ともに、日頃の稽古の成果を存分に思わせる演武が行われた。また、賛助演武として北海道学生合気道連盟、関東学生合気道連盟、関西学生合気道連盟、中・四国学生合気道連盟の参加があった。最後は小林師範による模範演武で大会は締めくくられた。

演武大会終了後は、場所を移し、祝賀会が行われ盛会のうちに終了した。

新潟　第42回演武大会

新潟合気会主催の「新潟市秋季市民総合体育祭　第42回新潟合気道演武大会」が10月7日、新潟県新潟市鳥屋野総合体育館で開催されました。本部道場より藤巻宏本部道場指導部師範をお迎えし、新潟合気会に加え、賛助演武として長岡市合気会、吉田合気道会、燕合気道会、新潟大学から総勢約90名が参加しました。最後には藤巻師範による総合説明演武で締め括られ、盛大に開催することができました。

藤巻師範（前列中央）と参加者

演武会に先立ち、6日と7日の午前中には藤巻師範による講習会が開催され、ご指導頂きました。初日は初心者向けの内容ということで、片手取りの抑え技を中心に基本的な動きの稽古を行いました。台風が近づく暑い条件の中、しっかり汗を流しました。2日目は諸手取りと横面打ち、後ろ両手取りを中心に、上段、中段、下段の捌き方の違いや捌いた後の相手との間合いを意識した稽古を行いました。有段者にとっても、稽古を続ける中で忘れがちな基本を再確認する大変有意義な稽古となりました。また、2日間を通して藤巻師範は「初心者が前に出て技を見ること」と「有段者と初心者が組んで稽古すること」を何度も強調して指導され、初心者の積極的に稽古に臨む姿が印象的でした。

演武会後の懇親会では藤巻師範を囲んで大いに盛り上がり、また、県内合気道団体同士の親睦を深め、新潟県内の合気道の発展を誓いました。（新潟大学合気道部　田中諒）

愛媛県連主催で―本部師範講習会

平成30年度愛媛県合気道連盟本部師範講習会《主催愛媛県合気道連盟（会長：橋田一美）》は、13日、14日の両日に渡り、それぞれ秋山兄弟道場及び愛媛県武道館柔道場にて開催され、本部道場より、私（難波）が本部講師として派遣された。参加者は、16団体より200名が参加。稽古は2日間を通じて、片手取、両手取、正面打ちより、転換法、呼吸法、呼吸投げ、一教、入身投げ、四方投げ等の基本技を用いて、姿勢を重視し、踏ん張らず、力まず、全身で柔らかく動くことを強調して稽古指導をおこなった。稽古後の懇親会では、和気藹々とした雰囲気で加盟団体相互の親睦を深めることが出来た。

私にとって、初めての愛媛県講習会は、歴史的に由緒のある場所で、参加者の合気道に真摯に向き合う姿勢に触れることが出来、とても有意義なものとなった。また、現地でご活躍の前会長鈴木茂師範をはじめ、加盟道場の先生方との合気道談義にも花が咲き、自分の今後の稽古の糧となる貴重な2日間となった。（本部道場指導部師範　難波弘之）

NPO法人　普及協会　ひろしま特別講習会

NPO法人ひろしま合氣道普及協会の特別講習会は10月20、21の両日、広島市内の広島県立総合体育館武道場で行われ、同法人と関わりのある県内各道場から16名が参加した。

稽古は2日間で2回行われ、70歳代から20歳代の幅広い年齢層の参加者達が入り混じり、終始明るい雰囲気の中で講習会を進める事が出来た。（本部道場指導部師範　佐々木貞樹）

前列中央が難波師範

関東学連は幹部研修会

平成30年度関東学生合気道連盟幹部研修会が9月11日から9月12日に日本武道館研修センターにて開講された。計14校、80名を超える学生が参加した。今回の幹部研修会は梅津翔本部道場指導部指導員にご指導いただいた。

本研修会は上級生を主体とし合気道の技・動作の理解をより深めることと、学連加盟校相互の結束を固めることを目的として行われた。

稽古内容はすでに幹部になっている学生や新しく幹部になった学生を中心とした基本技、基本動作の確認を行った。

一日目は掴み技を中心とした稽古を行った。細かい部分や投げる側も気を抜かないなど緊張感のある内容となっていた。二日目は横面打ちを中心とした打ち技の稽古であった。捌きから始まり、崩しを意識した技の練習など普段はあまり意識しない同じ技の違った側面に着目した稽古であったため、今一度合気道の奥深さに触れることができた。

怪我人も出ることはなく、大変有意義な時間を過ごすことができた。

本研修会で参加者は普段意識しないような稽古方法や考え方を多く学ぶことができ、今後の稽古に役立てていくと思われた。研修会は好評のうちに終了した。（関東学生合気道連盟講習会担当　櫻井匠）

前列中央が梅津指導員

体育の日記念　〝公開指導〟に54名

平成30年体育の日記念事業「合気道公開指導」は10月8日、東京武道館の第一武道場にて行われ、講師として伊藤眞本部道場指導部師範、松村光本部道場指導部指導員が派遣された。

伊藤師範の呼吸法

参加者は定員40名を大きく超えて54名、うち3名は初めての体験の方だった。

◇本部だより

▽伊藤眞指導部師範は、11月21日より26日までUAEに、12月5日から11日までサウジアラビアの講習会に派遣される。

▽栗林孝典指導部師範は、11月22日から28日までフランスの講習会に派遣される。

▽入江嘉信指導部師範は、11月22日から27日までロシアに、12月6日から10日までシンガポールの講習会に派遣される。

▽小山雄二指導部指導員は、11月29日から4日までフィンランドの講習会に派遣される。

▽菅原繁指導部師範は、12月6日から11日までロシアの講習会に派遣される。

▽藤巻宏指導部師範は、12月6日から11日までインドの講習会に派遣される。

第56回　全日本合気道演武大会DVD

▼内容：植芝守央道主の総合演武をはじめ、師範・指導者演武
▼時間：180分
▼価格：4、500円（税、送料込み）
▼予約受付開始：8月1日㈫より
▼発売開始：9月1日㈮より
▼申込み方法：名前、住所、電話番号、所属団体を明記の上ご注文下さい。
▼申込み先：国際企画センター
〒143-0024
東京都大田区中央5-18-1
FAX：03-3755-1258
E-mail：ozakisho1818@gmail.com

スイス少年部30名　本部道場で汗流す

スイス合気会少年部30名は、10月19日本部道場を訪問し少年部年長クラスの稽古に参加した。平日のため本部少年部の子どもたちの参加は少なかったものの、この日のために特別に3階道場で広くのびのびと稽古することができた。日本とスイスの子どもたちで国際交流の一環となったことはいうまでもないだろう。

本部道場3階で稽古

稽古は午後1時から3時まで行われ、伊藤眞師範が指導を行った。

伊藤師範は片手取りや両手取りの技を指導しながら、受け取りの繋がりや間合いの取り方などを示した。

また初めての人には基本の技をいくつか稽古してもらいながら、合気道の面白さをアピールした。

当日は他の会場でも柔道や空手をはじめ、様々な種目の公開講座が開催され、館内は活気に溢れていた。

第31回　多田宏師範　特別講習会

「第31回多田宏師範　特別講習会」を下記の通り開催します。奮ってご参加下さい。

記

日　　時：平成31年12月9日（日）
午後2時～5時（13時45分より準備運動を行います）
会　　場：本部道場　3階道場
会　　費：3000円
稽古内容：①生命力を高める呼吸法（調気の法）について
②技の上達法と心象（イメージ）の描き方
③合気道の基本技と足さばきの法則
④身体の動きと剣杖の使い方の一致
持 ち 物：有段者証、木刀、杖をお持ちの方はご持参下さい。
申込方法：当会受付にて所定の申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、会費を添えてお申し込み下さい。
締　　切：12月3日（月）まで

公益財団法人　合気会

スペイン 創立50周年記念講習会

12カ国から約600人

12ヶ国、600名が講習会に参加

左より道主、北浦師範、浅井師範

スペイン合気会創立50周年記念の講習会は、10月4日から9日までスペインのマドリッドにて、植芝守央道主を招いて行われた。

講習会には12か国から約600人が参加し、今までで一番規模の大きい講習会となった。

6日午前はスペイン合気会の創立者である北浦康成師範、息子であるシュウ氏、またドイツの浅井勝昭師範が講習を行った。午後は浅井師範、そして植芝道主の講習が行われた。

夜には祝賀会が行われ、日本国大使館から水上正史特命全権大使もお見えになり約200名の参加者と共に北浦師範の功績を称えられた。

道主は「開祖、吉祥丸道主に教えを受けた北浦師範がこのスペインに来られ、大きな合気道の輪を作ってこられました。多くの方々と共に日本の伝統的なものこの地に根付かせ日本国とスペインとの友好親善に多大なる功績をあげられたと私は思っております」と祝辞を述べられた。

7日は北浦師範の講習とスペイン合気会の方々による演武会、最後に植芝道主による講習が行われた。

国内外から多くの参加者が共に汗を流し、これからのスペインの合気道が新しい一歩を踏み出したと感じられた。

ルーマニア　秋季講習会

私（小林）は、10月11日から16日まで、ブカレスト市内のナショナルスポーツセンター内道場で開催された合気会ルーマニアの秋季講習会に派遣された。

講習は、金曜から日曜まで1日2回（各1時間半）行われ、私が指導を担当した。講習には地元のルーマニアをはじめ、ブルガリア、ギリシャ、イタリア、ドイツ等から、約200名の会員が参加した。稽古では、道場が狭く混雑した中で、初心者、少年部から高段者、また若手から年配者まで男女を問わず入り交り、元気にお互いを鍛錬していた。

20日夜は、参加者全員出席の晩餐会が開催され、会員同士で打ち解け合い、楽しい一時を過ごしていた。翌最終日は、午前稽古のあと市内見学。古代ローマ時代を彷彿される建物に、歴史の深さを堪能。夜はルーマニアレストランで地元料理を食し、講習の疲れが癒された。

来年、同会は日本を訪問する予定だが、全日本演武大会に出場を希望している。有意義な日本滞在になる事を祈るものである。（本部道場指導部師範　小林幸光）

ヨーロッパ各地から200名が参集した

ジャカルタ（インドネシア）講習会

IKIRU道場

私（入江）は9月19日から24日までIKIRU道場講習会指導のためインドネシア共和国首都ジャカルタ市を訪れた。

今回初めてスカルノ・ハッタ国際空港第3ターミナルに到着。新しい空港のとても近代的な姿に驚く。インドネシアの経済的発展の大きな証しであろう。代表のジェリー氏をはじめ道場メンバーの出迎えを受け、再会を喜ぶ。

翌20日から23日までIKIRU道場を会場にして講習会が行われた。参加者のほとんどは道場メンバーでシンガポール、ホーチミン・シティーほか東京から品川区合気道交友会の有志2名も参加し共に汗を流した。昨年より初心者が上達している。道場指導者の日頃の熱心な取り組みがうかがえた。最終日、IAIのテディー氏が挨拶に見えて、稽古に参加した。

11月に日本武道館主催の日本武道代表団の一員として再訪する予定なので、地元主幹団体の役員と打ち合わせができたことは有意義であった。（本部道場指導部師範　入江嘉信）

インスティチュート合気道インドネシア

私（伊藤）は、9月28日から10月1日まで、インドネシアに招かれ、講習会指導を行った。羽田から直行便で7時間、夕刻に到着したスカルノハッタ空港は、夏の空気が充満している。翌日から2日間で2時間の講習を3回行った。参加者は約100名で、有段者と白帯が半分ずつ位、ムスリムでスカーフをまいた女性も数多く見られた。

道場にエアコンはあるものの、ほとんど役に立たない。厳しい暑さの中、休憩を挟みながら稽古を行った。同団体はガナムルティ氏が創設し、インドネシア全土に3000人の会員がいるとのことで、地方都市でも積極的に稽古場の開設を行っている。2億人の人口を抱えるインドネシア、ジャカルタは活気に溢れており、合気道の更なる発展を期待したい。（本部道場指導部師範　伊藤眞）

IKIRU道場会員と入江師範

露・モスクワ央心館講習会

私（栗林）は10月11日から17日まで、ロシアの央心館（アレクサンドル・カチャン6段）主催講習会の為、首都モスクワを訪問した。

今年は日露両国首脳の合意に基づき「日本におけるロシア年」「ロシアにおける日本年」に位置付けられており、今回の講習会もその一部として開催された。1992年以来25年間に亘り毎年ロシアを訪問しているが、ここ数年は地方都市での講習開催であったため、モスクワの町中に入るのは本当に久しぶりであった。写真やニュース等でモスクワの街並みを見る機会は度々あったものの、実際に目の当たりにした現在のモスクワは高層ビルが立ち並び、新しい道路も増え、すっかり様変わりしていた。

講習会はモスクワ南東部にあるモスクワ武道センターで行われ、モスクワはじめ央心館傘下のロシア各地やキルギスタン、アルメニアからの参加者と央心館以外の団体からのモスクワやクラスノダール、ウリヤノフスク、クリミア他各地方から併せて150名の参加者が3日間に亘り熱心に稽古に励んだ。

今年はカチャン氏はじめロシアの合気道の先駆者が合気道に出会って35周年の節目にあたる。35年前に、当時NHK職員であったNHK合気道部の小野宏氏が語学留学のためモスクワ大学に滞在、「合気道をやる日本人がいる」という情報を聞きつけたカチャン氏はじめ4人のロシア人がモスクワ大学レスリング場で合気道を習ったのがロシアにおける合気道との出会いの一つであった。今回はそれを記念して懐かしいモスクワ大学道場（現在は合気道場とレスリング場として併用）において、記念講習会を開催、35年前に小野氏と共に合気道を始めたカチャン氏、マトヴィーエフ氏、ミーシャ氏、アグニャン氏の各指導者も顔を揃え、この5人による特別演武も行われた。

訪問中には在モスクワ日本国大使館の山本敏生公使（兼広報文化部長）ともお話しする機会を得、ロシアにおける合気道に今後も期待するとの温かいお言葉を頂戴した。また、国立モスクワ大学国際交流担当のユーリ・マゼイ副学長ともお会いする事が出来、今後国際武道大学等、日本の大学との活発な交流を進めたいとのお話があった。

ロシアには毎年本部道場指導部はじめたくさんの日本人指導者が訪問しており、日本とは大変密接な関係を築いている。今後もこのような状況のもと、さらにロシア国内での合気道の普及が進むことを期待する。（本部道場指導部師範　栗林孝典）

露・登龍門会

私（金澤）は9月14日から16日まで、ロシア連邦のモスクワで活動している合気道登竜門会の要請により講習会で指導を行った。

講習会はモスクワ市内のイズマイロボにあるスポーツセンターを会場に行われ、登竜門会の会員の他、モスクワ市内の様々な道場から参加、同じロシアではあるがバシュコルトスタン共和国のウファからは子供6名を含め12名が参加、全体では130名が参加。

大人のクラスは6回行われ、毎回70名から90名が参加した。今年で3年目の講習会ということもあり、指導した内容にもしっかりと反応し、稽古もスムーズに進めることができた。特に白帯の会員がしっかりと稽古していると感じた

子供クラスも1回行われ、30名の子供が普段とは違う日本人の私の指導に戸惑いながらも、私の質問に積極的に手を挙げ答え、真剣に取り組んでいた。

最終日には昇段審査も行われ、初段4名、弐段2名、参段3名、四段1名が昇段。

年々新しい参加者が増え、他の道場と交流することが少ない登竜門会の会員にとっては、様々な道場の人と稽古できる貴重な機会となっている。（本部道場指導部師範　金澤　威）

第12回国際合気道大会DVD

▼内容：植芝守央道主の特別講習をはじめ、世界各国師範の講習を収録。
▼本篇：九時間
▼価格：五、四〇〇円（税込み）
▼申込み方法：名前、住所、電話番号、所属団体を明記の上ご注文下さい。
▼申込み先：国際企画センター
〒一四三-〇〇二四
東京都大田区中央五-一八-一
FAX：〇三-三七五五-一二五八
E-mail：ozakisho1818@gmail.com

「維持会員」へのおささい

日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。

（公財）合気会では合気道のより一層の普及発展をはかるため「公益財法人合気会　定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。つきましては、賛同頂きご後援・ご援助を賜わることができましたら幸甚でございます。

記

（1）賛助会員　この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として
年額1口2万円　1口以上を納める個人および法人又は団体

（2）特別会員　この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として
年額1口10万円　1口以上を納める個人および法人又は団体

お申し込みは（公財）合気会事務局まで

ＢＡＦ創立50周年記念講習会演武会

英国合気道連盟（以下ＢＡＦ）創立50周年記念講習会並びに演武大会は、10月19日から21日まで植芝充央本部道場長を迎え、マンチェスターのリー市にあるスポーツセンターにて開催された。英国国内の道場をはじめ、フランス、オランダ、ベルギーなどなど国外８か国からの参加を含め総勢約２５０名が参加した。また今回は本部道場の学生派遣企画として、合気道部に所属している現役大学生７名が同行した。

稽古は３日間で計５回行われ、全て植芝本部道場長が指導を行った。植芝本部道場長は基本技を中心に稽古を行い、常に姿勢を正すこと、自分の中心で力を出すことなどを強調した。様々な取り方で稽古を展開しながら、取り方が変わっても技が繋がっていることを意識するよう指導した。また今回同行した学生たちは皆熱心に稽古に励み、現地の人からはその稽古に対する姿勢や態度に好評を得た。参加した学生にも海外での本部の活動を肌で感じる貴重な機会となり、大きな刺激となった。

本部道場の指導

総勢250名が集まった

20日夜はホテル内の会場にて懇親会が行われ、約１００人が参加。その際に植芝本部道場長より「この50周年を記念しての行事に伺うことができ、大変嬉しく思っております。50年の積み重ねがあって今があり、そういった合気道への色々な思いをぜひ次の世代に繋げていってほしいと思います。これからの合気道を担う若い世代を育てていっていただき、ＢＡＦそして英国での合気道の輪がさらに広がっていくことを願っております」と挨拶があった。その後会は大いに盛り上がり、無事に閉会した。

21日午後には記念演武会が開かれた。英国国内の各団体の代表者による演武が行われ、最後に植芝本部道場長の総合演武にて盛大に締め括られた。

今回の滞在において英国には珍しく晴天が続いた。記念大会の最後には晴れ間が広がり、帰路に着く人々の表情もまた晴れやかなものであった。

ポーランド協会主催
講習会を指導

私（金澤）は10月19日から21日まで、ポーランド合気道協会の要請によりポーランドのチェコ国境の近くにあるポラニッア・ズルドイ市で行われた講習会で指導を行った。

講習会は市の中学校の体育館を借りて行われ、ポーランド国内各地から１２０名が集まった。今年はポラニッア・ズルドイ市で合気道の稽古が始まり35年を迎えた。人口が多くない保養地として有名な土地で、合気道を35年間継続することは大変だったろうと感じた。この地で指導してきたアンドレイ氏が講習会中、常に初心者の方と組み丁寧に一緒に稽古している姿にこの継続の一端をうかがえたような気がした。

参加者の内有段者が約３分の１、残りは白帯の有級者で若い人も多い。団体として新しい会員が入って来る環境ができていると感じる。また有級者の中にも非常に熱心に稽古に打ち込んでいる者がおり、今後が楽しみである。

また、この講習会の恒例ではあるが、ポラニッア・ズルドイ市から車で２時間ほど離れたボロツワフで合気道を取り入れている学校から、身体に障害のある若者４名が稽古に参加、有段者と組み楽しそうに稽古を行った。稽古後には４名から２年前私が彼らに指導していた時の写真付きの感謝状を頂いた。このような機会も私にとっては非常に新鮮で、貴重な体験となっている。

（本部道場指導部師範　金澤　威）

オルシュティンでも
講習会開催

私（櫻井）は10月18日から23日まで、ＡＡＩポーランド講習会のため、ワルシャワから車で東に３時間移動し、オルシュティンを訪れた。

金曜日の夜、代表のトーマス・クジャノフスキ氏の道場で１時間の稽古。約80名が参加。１年ぶりにお互いの動きを確認し、翌日からの講習会に向け、気持ちと体を整える。

桜井師範の入身投げ

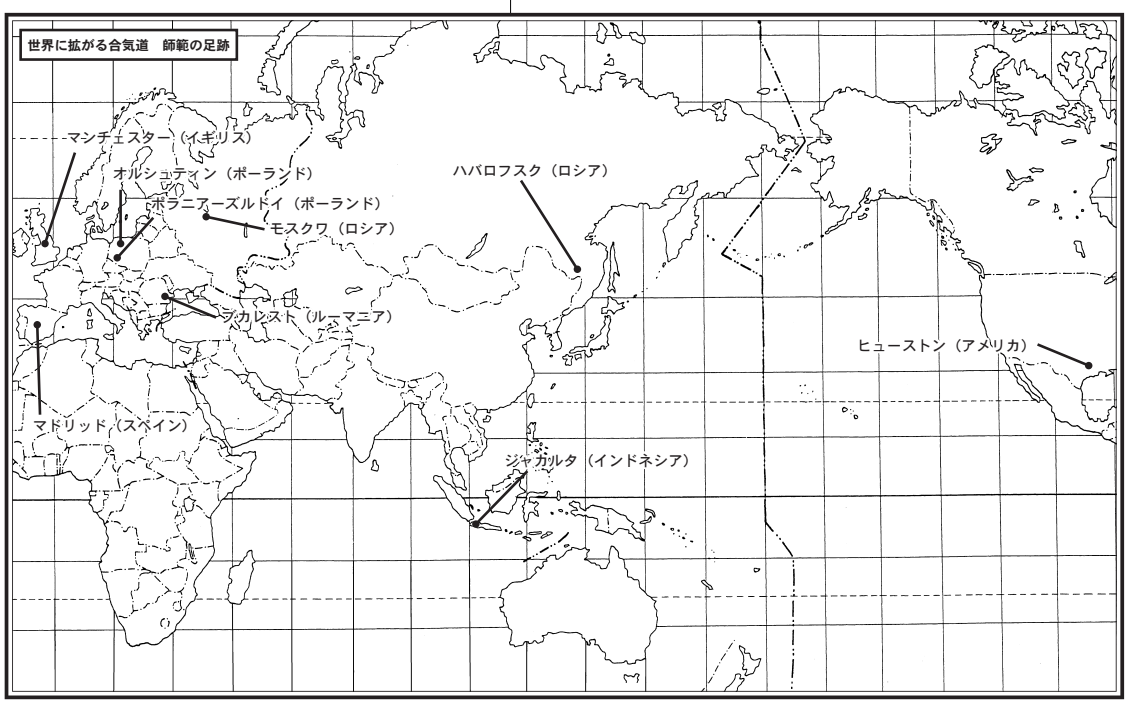
土日で市の体育施設を会場として、２～３時間の講習会を３回行った。参加者約１９０名。国内の他団体、他国からの参加もあった。各人、課題を感じ、それを乗り越えようと熱心に取り組む姿勢が多く見られ、実りの多い講習会となった。

（本部道場指導部師範　櫻井寛幸）

米・ヒューストンで
秋季講習会

私（桂田）は、10月４日から９日までＡＷＡ（アイキドウ・ワールドアライアンス）の秋季講習会指導のため、アメリカ・ヒューストンを訪問した。

ＡＷＡへは２年に１度行っており４度目の訪問となる。２時間と２時間半の稽古が計５回行われ、慣れ親しんだ方々と共に稽古に勤しみ汗を流した。年齢層も多岐にわたり、若い方も多く見られ広がりを感じるものとなった。代表のアンドリュー佐藤師範を始めとした方々のホスピタリティに感謝申し上げたい。（本部道場指導部師範　桂田英路）



露・ハバロフスクで交流会

「ロシアにおける日本年」・「日本におけるロシア年」

平成30年度日本武道青年代表団（（公財）日本武道館、日本武道協議会、日露青年交流センター、ロシア連邦スポーツ省、ロシア武道連盟、ハバロフスク地方政府主催外務省後援）は９月30日から10月５日まで極東ロシアハバロフスク市に派遣された。（公財）合気会からは日野皓正本部道場指導部指導員、鈴木昂平同部指導員、日本体育大学４年本澤直季、二松学舎大学３年須田拓也が合気道代表として派遣された。

30日には成田空港にて結団式・壮行会が行われ、団長の臼井日出男日本武道館理事長より「日本武道青年代表団のロシア連邦派遣事業を開催しましたところ若手の将来を担う多くの皆様にご参加を頂いて当事業が開催されますことを心から嬉しく思います」とお言葉があった。壮行会の最後には日本武道館三藤常任理事・事務局長による万歳三唱が行われ、団長をはじめとする現代武道９団体、総勢約44名の団員を送り出した。

ハバロフスク地方合気道連盟と現地交流稽古を行った

１日に代表団はハバロフスク市内にある在ハバロフスク日本国領事館に表敬訪問し、現在のロシアの社会情勢や武道の進行状況などの話を伺った。続いてハバロフスク州政府庁舎（スポーツ省）に表敬訪問を行い、両国の代表による記念品の交換が行われた。

２日に極東文化アカデミーにて行われた武道文化セミナーにおいて各武道が学生、一般客約３００名が集まる中演武を披露した。また、空手道の亀山歩氏による講演が行われ、講演では流派による構え、動きの違いや空手道の生い立ちなどを話されていた。

３日にはハバロフスク州立総合スポーツ施設（レーニンスタジアム）にて今回のメインとなる日本武道演武会が行われた。来賓として、ロシア連邦スポーツ省次官コシロフ・セルゲイ氏、在ハバロフスク日本総領事館首席領事門倉俊明氏、ロシア武道連盟事務局長ガバソフ・ラミリ氏、ロシア国境警備隊少将ロシア英雄メルズリキン・アンドレイ氏、ハバロフスク地方政府スポーツ省大臣代理モヒレフ・ウセオロド氏が臨席した。

４日にはハバロフスク市内の道場にて現地団体との交流稽古が行われた。日野指導員による講習は子供１時間、大人１時間の計２時間行われ、２団体からそれぞれ約30名の参加があった。参加者は稽古を通して交流を深めあった。同日夜には現地の会場にて解団式を行われ、５日に代表団は無事帰国した。

約１５００名の観客が集まる中で各武道は演武を披露した。演武会後には体験稽古会が行われ、各武道で観客との交流を図った。合気道には約60名程の観覧者が体験に参加した。

合気道を正課に採用している

日本体育大学　国際武道大学

日本体育大学、国際武道大学では、合気道が正課の授業に採用されており、通常の授業の中で、合気道を基礎から学べます。それぞれの大学では、より専門的に合気道に取り組みたいと考えている学生の入学を待ち望んでいます。

詳しくは、合気会事務局（電話　03・3203・9236）までお問い合わせ下さい。

各道場の昇段者

30年９月10日～
30年10月14日
（公財）合気会登録

【四段】
◆本部道場＝舘野完◆厚木合気道クラブ＝飯嶋等◆尾張合気会＝水田周作◆合気道凱風館＝大塚隆生◆健身館＝友渕認◆武友館袋井合気道場＝吉筋正和、山本茂広◆綾瀬市合気会＝大石視朗◆合気道水沢道場＝小澤信行◆祥平塾＝岡信太郎◆合気道足柄聖気館＝宮根健◆平塚合気会＝大久保邦彦、橋本恵輔、小林肇◆里見八顕会本部＝林俊雄◆神武塾＝柑本章子◆宮北合気会＝奥村玲子◆兵庫合気会＝野村道歩◆宮崎合気道会＝日髙正史、谷口吉充◆平井道場＝野口壮一◆泉心塾＝吉田浩治◆千住合気会＝中嶋喜久世、岡本有希子◆紀州熊野合気会＝奥村浩之◆明治大学教職員合気道クラブ＝鈴木一平、柏谷将直◆SWEDEN＝A.Bergstrom◆FRANCE＝A.Dellugat、N.Riviere、J.Bothera◆ISRAEL＝S.Golan、A.Marom、A.Solomon◆FINLAND＝R.Rajala◆DOMINICA＝B.Reyes◆TURKEY＝T.Batmaz◆NETHERLANDS＝M.Vos、O.Pols、E.Weterings、H.Boersma、I.Lem、H.Funk、D.Stolp◆NEWZEALAND＝N.Burnett◆PHILIPPINES＝L.Castro◆U.K.＝S.Fraser、S.Gendler、G.Rieck、R.Watts、M.Forster、J.Williams◆BRAZIL＝D.Sant'Ana、E.Bueno◆TATARSTAN＝S.Shishkin◆ARGENTINA＝A.Chanes、E.Marturano、R.Moyano、F.Esquinasy、G.Cironi、A.Obeid◆U.S.A.＝J.Alcantara、J.Recca、J.Taitel、V.Leitman、A.Weiner、J.Lavelle、T.Kammerer、F.Ramos、E.Saleyda◆LUXEMBOURG＝S.Scandizzo◆SPAIN＝A.Badassian、D.Gormedino◆AUSTRIA＝A.Kosulin、J.Nemeth◆CZECH＝J.Viktorin◆RUSSIA＝I.Chesnykh、R.Ibragimov、I.Trifanov、E.Boldyrev、A.Yelin、A.Kozlov◆BULGARIA＝A.Iliev◆ITALY＝A.Costamagna◆SINGAPORE＝S.Ho◆INDONESIA＝H.Mekel、B.Widyarta、I.Nurcahyo、P.Susilo、C.Hidayat◆韓国＝石奉浚

【参段】
◆本部道場＝高島可奈子、植村隆◆厚木合気道クラブ＝中村善健◆裾野合気会＝濱本裕美◆合気道凱風館＝福井千珠子、菊池眞理子、齊田都子、海野淳子、原田徳子◆臥龍会＝曽我大地◆茅ヶ崎合気会＝佐藤麻紀◆合気道石芯塾＝影嶋將人、大瀬一剛◆祥平塾＝宮本佳之◆合気道神戸＝杉山義隆、矢野勝◆関道場＝鳥海誠、三角早苗◆川越道場＝金井俊朗◆よみうりカルチャー大宮＝斉藤利弘◆京都近江合気会＝P.Liu◆法務省合気道部＝田野尻猛◆里見八顕会本部＝大井浩一◆合気道南田中道場＝ラシド・グフィ◆合気道練馬総合体育館道場＝牧野光正◆五十嵐道場＝立松幸樹◆三菱養和会武道スクール合気道塾＝三原宏治◆岩手山麓合気道日高道場＝大沢和義、多田集、合川洋平◆宮崎合気道会＝伊藤晃◆気流塾＝山根敦子◆千住合気会＝稲葉真◆名古屋大学＝佐藤雄基◆明治大学教職員合気道クラブ＝神保康紀◆新宿スポーツセンター＝福田孝昭◆富山大学＝五十嵐航◆CZECH＝Z.Lunak◆ISRAEL＝I.Cohen、G.Brodnitz、E.Yahel、D.Taron◆PHILIPPINES＝J.Bayno、M.Gancio◆CHILE＝M.Preller、C.Chacon◆ECUADOR＝C.Unda◆BRAZIL＝I.Takayanagi、I.Menezes、E.Sakoda、E.Bergonci、R.Costa、L.Ortiz、S.Dreger、M.Schaffer、B.Silva、R.Kras、F.Trindade、B.Requiado、M.Buttow、E.Vargas◆SWEDEN＝G.Hamjatov、A.Lund◆NETHERLANDS＝M.Manders◆FRANCE＝Y.Michalski、C.Chort、N.Riviere、S.Turpault、A.Bernizet、Y.Guille◆FINLAND＝M.Linturi、T.Hietala◆DOMINICA＝G.Garcia◆BULGARIA＝M.Mineva、L.Minev◆INDONESIA＝G.Gunawan、A.Wibowo、F.Jakub、K.Purnama、R.Saifurachman、A.Satria、W.Susanto、J.Diroatmodjo、R.Sudomo◆TURKEY＝A.Erdogan◆NEWZEALAND＝B.Robinson、B.Bell、J.Galbraith、D.Spense◆POLAND＝R.Stasik、A.Michalowicz◆U.K.＝D.Gilbert、M.Ashworth◆TATARSTAN＝A.Sayfullin、◆ARGENTINA＝I.Sharafutdinov、W.Cuestas、J.Arguello、P.Arranz、P.Boetsch、A.Lavin、H.Gimenez◆U.S.A.＝M.Garrido、C.Niskala、J.Blake、N.Harrison、A.Hoffmann、S.Swierzbinski、J.Kivlehan、R.Setlow、C.Aldrich、L.Bourgouin、S.Lasher、D.Romano、立花章夫、K.Kondell、J.Spears、R.Brew、J.Burn、M.Lowry、J.Spencer、D.Shroder、J.Gauer、A.Wagner◆MEXICO＝D.Hammer◆POLAND＝M.Paredes、J.Bochenski◆SWITZERLAND＝M.Plodzien、K.Kellenberger、A.Naarden◆SPAIN＝A.Zeitler、I.Hirano◆GERMANY＝D.Pinon、U.Geiser、D.Duka、N.Punkaew◆AUSTRIA＝R.Franz、K.Kosulin◆BELGIUM＝E.Fuerst、R.Catalano、J.Cordeiro、V.Istas◆RUSSIA＝T.Belmans、M.Mikhailov、V.Shaposhnikov、A.Makarenko、S.Perekhodov、A.Ostroushchenko◆AUSTRALIA＝A.Akhmedova、A.Howard、L.Pearcy、J.Dinh、D.Davenport、N.Ho、J.Taaffe◆ITALY＝L.Rojas、M.Nardoni、C.Sgroi◆SINGAPORE＝S.Scalici、L.Long◆中国＝W.Choy◆韓国＝鍾漢榮、吳炳錫、方澈晳、趙延培

【弐段】
◆本部道場＝渡辺広晃、吉川典孝、大島芳雄、月出雄万ロバート、長昭彦、川嶋隆志◆多摩川合気道会＝石田勝彦◆合気道瀧田塾＝中山憲和◆合気道凱風館＝坂東克則、玉岡尚志、小手川望、向井晃子、神田貴成◆無為会＝楊勇◆合気道奥州道場＝阿部優樹◆健身館＝白井貞美、白井和香那◆愛結会＝山本匠悟◆綾瀬市合気会＝小林孝夫◆氣流会＝渡邉弘美◆谷神会＝岩下道子◆鍬守道場＝片岡彩子◆月窓寺道場＝児玉雄樹、春日竜虎、勝見公紀◆三河合気道研究会＝鈴木仁司◆合氣道廣心会＝松浦雅子◆合気道石芯塾＝小林亜樹子◆祥平塾＝脇屋裕一郎、上川悟、松尾治利、久家光晴◆合気道神戸＝山本晃平◆関道場＝佐藤匡昭、村木研司、福田一成、伊藤秀邦、橋本沙絵、小宮清秀◆辻堂道場＝和田美波◆よみうりカルチャー横浜＝徳重知佳子、新藤裕二◆福岡合気会＝堀彩奈◆岩出道場＝笹井達雄◆合気道七尾道場＝岩﨑由果◆五十嵐道場＝藤原崇靖、名和英海◆宮崎合気道会＝瀬尾直聡◆城下町合気道＝大久保賢一◆平井道場＝橋本泰延◆かすみがうら合気会＝斉藤薫◆合気道石田塾＝野口聡一◆気流塾＝吉田修一◆浦上道場＝浦上ますみ、関矢晶洸、関矢直江、高濱智子◆合気道桃林道場＝尾﨑喜一◆合氣道清和塾＝大藪稜二郎、山田健生、新田紗己◆一橋大学＝今井春奈、久保咲月、小林裕紀、福江皓一、安間海斗、山本貴子◆高知県立大学＝下山拓真◆埼玉大学＝高野晃平◆神奈川工科大学＝簑口静穂◆青山学院大学＝遠藤モナミ、川村更紗◆津田塾大学＝豊藤櫻子◆東京大学＝長倉滉平、林蓮太朗、生駒亜梨紗、村山菜月◆明治大学生田＝尾野雄大、宇津木優樹、中桐幹哉、田中恵太、白木伽穂莉、梶世飛亜、山田晶子、王天藝◆立教大学＝小泉竣、長谷川羽利◆奈良県立医科大学＝辻本藍子◆THAILAND＝A.Kushnarev、Y.Chirakijja、P.Ard◆PHILIPPINES＝R.Crisostomo、O.Benedicto、L.Tejano、S.Posadas、C.Tolentino、J.Ibarra◆AUSTRALIA＝F.Brierley、J.Ormsby、C.Coetzee、S.Lee、E.Atkinson、B.Roberts、W.Chorley、T.Garwood、K.Crane、L.Wittick◆CHILE＝E.Moreira◆ECUADOR＝J.Prada、M.Nasimba、W.Ramos◆SWEDEN＝S.Andersson◆U.K.＝P.Redfern、T.Hegyes、K.Packo、M.Filip、C.Gamble、U.Saleem、C.Edwards◆MALAYSIA＝W.Leong、S.Wang、J.Goh◆NETHERLANDS＝W.Spencer、R.Galestien、D.Meijland、G.Vreede、M.Hunink、R.Berg、M.Hodes、P.Haidar、E.Wolven、L.Petra、D.Kann、M.Broek、N.Ham、D.Tromp◆FRANCE＝N.Riviere、S.Turpault、A.Becquet◆FINLAND＝M.Maki、D.Boyadzhiev、L.Nemesszeghy◆DOMINICA＝A.Diaz、J.Urbaez◆BULGARIA＝D.Angelova◆INDONESIA＝H.Wijaya、A.Fitranugraha、Y.Saputra、E.Faisal、Handriyanto、D.Hermanto、E.Winpazqara、S.Hamidi、A.Purnomo◆NEWZEALAND＝Z.Moerua、R.Waller◆POLAND＝S.Wesolowski、T.Kujawa、K.Stefanczyk、J.Matusiak、M.Zareba◆BRAZIL＝E.Silva、J.Sestelo、E.Vidal、M.Silveira、P.Silveira、F.Pagel、P.Almada、M.Mendes、C.Pereira、V.Saturi、F.Luz、E.Oliveira、N.Souza、M.Filho、C.Moreira、M.Filho、D.Rosa◆SWITZERLAND＝N.Dokmanovic、C.Bozzetti◆CANADA＝M.Llamazares◆ARGENTINA＝N.Germani、J.Buffa、V.Estremador、A.Burroni、T.Reydo、L.Veron、J.Pedulla、C.Cescuni、E.Ramallo、J.Peralta、C.Nunez、A.Ferreyra、M.Avalos、G.Soriano、E.Terry、K.Lindner、F.Camerini◆U.S.A.＝R.Arbas、A.Samiky、C.Knight、G.Szraibman、P.Ghahramani、E.Lin、K.Salameh、W.Lupeika、R.Hsi、R.Layaoen、S.Mcentee、K.Valencic、G.Buzzard、D.Huffaker、G.Hughes、G.Carranza、J.Smith、A.Best、R.Engel、C.Salomon、P.Holohan、N.Barshi、G.Moffitt、M.Jouet◆MOROCCO＝K.Salaam、R.Rikaoui◆SAUDIARABIA＝U.Ogues◆LUXEMBOURG＝P.Lazarov◆MACEDONIA＝V.Stojanovski、D.Novikov◆SPAIN＝L.Bouchot◆AUSTRIA＝R.Loidl◆RUSSIA＝I.Tobolkin、A.Kornilov、I.Ovchinnikov、V.Kiriliuk、I.Bedniakov、V.Bagaeva、I.Riabkova、R.Sayfullin、M.Koriakov、O.Efimenko、A.Osipov、R.Mukhamedzhanov、A.Ivanov◆GERMANY＝E.Bauriedl、N.Niemeyer、◆GREECE＝K.Koiliaris◆CROATIA＝W.Nieves、R.Railic、K.Crnko、I.Penovic◆ITALY＝A.Nanni、S.Galluzzo◆ROMANIA＝V.Militaru◆ISRAEL＝S.Hershkovitz、Y.Skalinsky、I.Laufer、Y.Aroch◆VENEZUELA＝C.Munoz◆SINGAPORE＝L.Wong、F.D'Souza◆中国＝丁凱欣、刘光◆韓国＝林相佑、鄭宗赫、趙良晨、李在浣、李珉鎬、李京珍、趙漢相

【初段】
◆本部道場＝石田強◆多摩川合気道会＝森屋典子、竹内茂、内藤佑斗、千田順弥◆住吉塾＝吉重しずく◆裾野合気会＝大宮山健太郎◆尾張合気会＝林祐輝◆芦屋合気会＝井上蓉子◆合気道凱風館＝飯田龍成、山口嘉朱代、宮﨑俊弥、伊賀正道、伊地知紀子、増田明日香、井手敬太◆無為会＝李峥◆合気道奥州道場＝嶋田野亜◆新宿スポーツセンター＝國井常泰◆愛結会＝新清敏弘、師田彩花、塚本朗人、髙田佳希、柴田瑞希、門前里奈、伊藤佑奈◆綾瀬市合気会＝大石真輝、浅沼智英◆曙合気道クラブ＝福田隆俊◆笠間市体育協会合気道部＝小堤均、小堤晶子◆海老名市合気会＝青木和雄◆氣流会＝渡邉凜太◆谷神会＝長岡宣道、岡山睦子、山元則男、安田一馬、鰺坂弘明◆群馬合気会＝磯﨑実香子、綿貫ちひろ◆月窓寺道場＝塚田裕昭◆山形道場＝尾形勇輔◆山口合気会徳山道場＝八木零嗣◆渋谷区合気道同好会＝八木和子◆合気道石芯塾＝ヒグビー・ハミルトン、中村成敏◆祥平塾＝松村亜夜、植木智弘、中村和恵◆城南合気会＝國分敦智◆関道場＝石川健一◆大手前学院＝伊藤誠◆天之武産合気塾＝高冨士愛子、前川拓人、新原史彬、南井萌里、征録美穂、J.Jose◆福岡合気会＝平田飛来◆防衛省合気道連合会＝栗林茂樹◆胆振合気会＝立岡雅之◆合気道昭和道場＝大宮枝里子◆野田合気会＝西岡進夫◆用賀合気道クラブ＝小玉孟、朝戸俊佑◆神武塾＝近藤誠一郎、村田光章、加藤大彰◆合気道練馬総合体育館道場＝多武保純子◆光輝会＝川出真由美◆兵庫合気会＝橋本賢実、西谷充江、橋本莉渚、鷹谷宜哉◆岩手山麓合気道日高道場＝永沼明◆城下町合気道＝村井裕輔、亀山忠司◆しらとり合気道クラブ＝立松弘行◆合氣求和会前沢道場＝渡邉長次郎◆平井道場＝矢田理恵美◆かすみがうら合気会＝池畑忍◆気流塾＝尾川久子◆足利市民合気道クラブ＝松村博文◆浦上道場＝関矢亨、近藤篤子、大谷浩一郎◆京都合気道クラブ＝関戸幸一◆紀州熊野合気会＝E.Ivanova、J.Kepford◆合気道清道館＝大門一茂、山下圭祐、錦絲崇史◆土浦日本大学高等学校＝武田龍亮、大槻凌平、加藤雅喜、清水菜月◆大阪府立春日丘高等学校＝松本浩年、東田彩里、中山祐希、古志二千華、大滝優果、大石紗彩、岩角侑奈、伊東葵、油谷凜◆大阪府立四条畷高等学校＝水口真緒、寺田晴香、杉山裕哉、島本大輝、小出海里、田村雪乃◆大阪府立北千里高等学校＝飯田響、山口ゆうも、中島魁星、下羅翔太郎、蒲川みる、田口寛人、伊藤大悟、難波江柚希、坪田涼花、高坂美波、松本もえ◆大阪府立北野高等学校＝登尾悠平、上岡由依、朝倉瑠理、荒井建人、布引沙利香、藤本健太、久野貴史、東紅杏、細川航輝◆大阪府立大手前高等学校＝福島桃音、荻野将太、田中雄大、伊勢実可子、石丸巧、蓬郷修一朗、村上菜々子、岩﨑雅弥、桑井孝祐、吉村駿佑、川田真由、須山胡桃、仮屋陽太、神藤音々、大慶桃子、角和樹、乾綾友子、髙實萌音、中村美咲、木全寛乃、山田裕也◆英真学園高等学校＝渡辺和真、三村晃司、上達哉◆高崎経済大学＝高倉翔◆岡山大学＝加藤舞◆東京女子大学＝丸山茜里◆東京大学＝松田幹大、山田大雅、朝倉海寛、松澤草汰、西川敦彦、飛田駿、玉崎駿、髙原百萌、長戸葵◆東京農工大学＝林裕人、長谷川研志郎、加藤一生、渡邊真由、武内日陽里◆武蔵大学＝小河原洸希◆立正大学＝藤田紗帆◆富山大学＝加藤大輝、宁田智也、廣瀬友詩、森春樹◆奈良県立医科大学＝三好真緒、辻野文甫◆電気通信大学＝山本洸凪◆THAILAND＝K.Rasmidatta、T.Aksharanugraha◆CZECH＝V.Jelinkova◆PHILIPPINES＝J.Velandrez、A.Datu、E.Ramallosa、J.Daproza、J.Tan◆CHILE＝R.Fuentes、J.Cortez◆DENMARK＝W.Pedersen◆SWEDEN＝J.Appeltofft、C.Bleckman、C.Chan◆U.K.＝N.Mccluskey、P.Smyth、E.Mahon、G.Crellin、M.Bell、K.Marsh、V.Linnane◆MEXICO＝J.Flores、X.Cano、R.Garcia、M.Ayar◆NETHERLANDS＝N.Uden、F.Burg、R.Hintzen、A.Schilders、R.Eekhof、R.Kriele、A.Tolboom、W.Wilschut、B.Doesburg、P.Lassooy、Q.Tran◆FRANCE＝N.Riviere、S.Turpault、R.Brevet、G.Riquier、V.Gould、J.Azema、M.Alizon、J.Retailleau、M.Lambrechts、C.Cordier、J.Gay、S.Belgodere、N.Stern◆FINLAND＝A.Ristila、M.Oikola、H.Makinen、I.Malinen、K.Pajunen、P.Kujala、M.Laitinen、J.Heikkinen◆DOMINICA＝L.Martinez◆INDONESIA＝Nurdin、N.Suryadewi、M.Tjahjono、F.Rahmania、A.Kurniawan、A.Gumilar、N.Sutedja、T.Ismayadi、M.Badar、T.Sanjaya、S.Juhariah、A.Pradipta、R.Hariyono、M.Silaturrochim、K.Khairunnas、M.Laksana、M.Aziz、N.Widiarta、Hermandi、M.Wahyudi、N.Astuti、T.Faiz、D.Nubary、G.Rowbhin、W.Adirasa、Jaenudin、B.Sutejo、L.Dinendra、Qomaruzzaman、A.Sudrajat、L.Mukti◆TURKEY＝S.Demir、C.Unsal、H.Keskes◆ISRAEL＝H.Shalom、M.Gwynn、A.Pritsker、H.Peles◆SAUDIARABIA＝Y.Fattah、M.Johani◆POLAND＝T.Jaminski、N.Rybak、M.Blicharski、M.Jaroszczuk、K.Batko、M.Perczak、L.Rutkoliski、P.Wojecki、M.Boczkowski、M.Wojciechowski、T.Idzi、W.Czarniecki◆BRAZIL＝D.Rocha、J.Almeida、R.Souto、V.Queiroz、J.Nicloti、M.Filho、N.KuroseJr.、S.Andrade、U.Silveira、A.Boelter、F.Canquerini、L.Silva、J.Facchi、M.Melo、D.Port、F.Lopes、E.Monteiro、W.Azevedo、A.Santos、L.Pinto、F.Vasques◆TATARSTAN＝G.Cerceil、R.Gibadullin、S.Ibragimov、D.Muradimov、D.Notik◆U.S.A.＝B.Davies、C.Poon、C.Stevens、T.Tauscher、J.Thompson、S.Lowe、T.Willeford、B.Cox、C.Trengrove、C.Thomsen、O.Hauser、S.Kiebdaj、P.Onge、R.Gutierrez、A.Melnick、J.Tanner、J.Liao、D.Beyea、M.Kidwell、A.Vegelante、L.Dobbs、A.Koppel、A.Ellis、P.Fink、E.Hedenborg、E.Schnipper、P.Herpen、R.Maciuk、G.Templin、A.Rangnekar、H.Loch、M.Kirsling、M.Barkov、M.Johnston、M.Kelly、F.Moman、D.Tarr、M.Tarr、D.Williams、C.Pummill、W.Barlow、R.Moore◆GERMANY＝C.Jehle、C.Haschke、R.Grosse◆AUSTRALIA＝B.Carter、D.Chittenden、S.Lack◆MALAYSIA＝王永霖、李玉麗、李玉莹、陈欣艺◆RUSSIA＝A.Lebedev、V.Kharchenko、M.Bulyga、E.Melnikov、M.Malmygin、A.Chegodaev、V.Klimovskaia、A.Savinykh、A.Minaev、R.Pishnograev、A.Golova、E.Kotelnikov、R.Omarov、T.Mazitov、B.Toleutaev、R.Vlasov、D.Yurchenko、M.Sologubov◆ARGENTINA＝E.Flamenco、M.Mansilla、P.Ituren、S.Osorio、M.Severino、A.Gandolfo、L.Pinedo、C.Irigoyen、R.Bruno、A.Barahona、S.Skogman、J.Yramay、M.Molina、M.Cardis、G.Aguirre、O.Nazar、M.Lopez、E.Caamano、L.Moreno、D.Flores、F.Etchart◆MACEDONIA＝R.Danchenkov◆UKRAINE＝V.Larin◆SWITZERLAND＝M.Pejovic、F.Nicastro、M.Lehmann◆SPAIN＝D.Perez、D.Pallares、D.Arias、J.Tenedor、J.Barbero、N.Aguilar、O.Monje、A.Boza、G.Orlando、M.Tirreno、W.Truini、K.Lima、N.Lupascu、G.Dumont◆AUSTRIA＝D.Hobert、T.Hobert、D.Falk、S.Horner◆BELGIUM＝D.Golmar、S.Limina、F.Rede、C.Laurent、M.Bleau◆BULGARIA＝A.Bakalov、M.Chirpanliev、Y.Aladzhov◆CROATIA＝D.Pavlovic、P.Findrik、A.Cobic、M.Grbavac、R.Kralj、A.Telfizian、A.Djakovic、D.Nikolic、S.Stasevic◆ITALY＝E.Giordano、M.Maron、A.Spina、E.Stanchi、M.Milanovic、D.Ljubic、C.Callegari、G.Susaj、L.Maury◆MOROCCO＝R.Hafez、J.Belmir、H.Bouhmad、A.Hammou、M.Hosni◆ROMANIA＝A.Crainic、L.Stan◆SINGAPORE＝A.Sunaryo、Y.Chua、長江小百合◆中国＝张怀霜、李梓铭、K.Cambourn、C.Lickfold、R.Lickfold◆韓国＝R.Correll、金正哲、李圭明、朴在榮、申東喆、李廷弼、朴培緒、曺隘誠、曺隘誠、金江珉、朴泰俊、李東民、權五亨、全炯俊、朴炳浩、崔殷碩